

## 第4章 産業経済分野

### 地域経済が元気で 就業機会に恵まれたまち

- 1 時代をリードする農業の振興
- 2 活力ある工業の振興
- 3 魅力あふれる商業の振興
- 4 働きやすい就業環境の創出
- 5 安全・安心な消費生活の確立
- 6 観光による地域振興

# 1 時代をリードする農業の振興

## 現況と課題

本町では、水稻・小麦の二毛作と野菜を中心とした農業が行われています。農業従事者は減少傾向にあるとともに、兼業農家が農家総数の7割以上を占めています。

これまで本町では、農業生産基盤整備を進め農用地の基盤整備率は99%と極めて高く、農地の面的条件は整っています。しかし、国内農業と同様に農業従事者の高齢化が進む傾向にあり、農地の貸し付けや農作業の委託を希望する農業者が増加しています。

この傾向を本町農業転換のチャンスととらえ、地域農業の担い手となる、認定農業者や集落営農組織へ優良農地を集積し、効率的な土地利用型農業の実現を支援する必要があります。また、園芸、畜産分野においては、首都圏という消費地に近い立地条件を活かし、集約的かつ高収益型農業の実現を支援します。

近年、食の安全・安心や環境に配慮した農業が求められ、消費者から信頼される農産物の生産・供給が課題となっています。消費者・市場の動向を的確に把握するとともに、流通・販売経路の充実に努め、農業経営の安定化を図る必要があります。

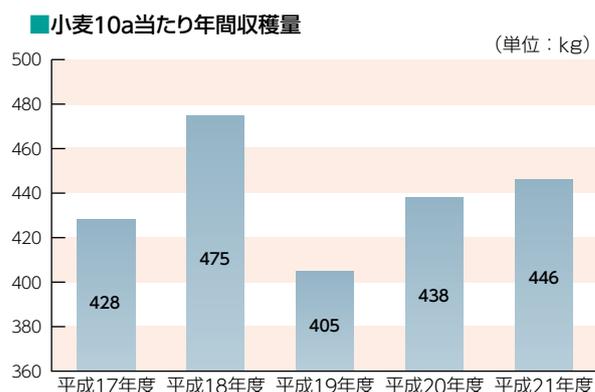
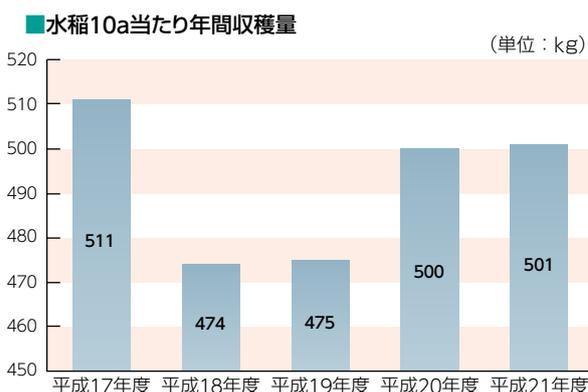
また、農業は、多面的な機能を備えていることから、環境、教育、文化など他方面の活用を進めることが求められています。農業体験、消費者との交流、地産地消の推進などを通じて、住民の農業への関心・理解を深めていくことが必要です。

## めざす姿

- ◆町内の水稻・麦類の単位当たり収穫量が増えています。
- ◆農業の担い手（認定農業者や集落営農組織）に優良農地が集積されています。
- ◆農業が備える多面的な機能が理解され活用されています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現 状	目標 (H27年)
水稻・麦類の10a当たり年間収穫量	水 稻501kg 小 麦446kg	水 稻510kg 小 麦500kg
担い手への農地集積率	43%	65%
農業体験参加者数（学校、消費者）	児 童200人 消 費者 0人	児 童600人 消 費者 200人



## 施策の内容

### 1. 農業生産の効率化

農業生産の効率化に向けて、農業者、農業関連団体と連携して、優良農地の保全・集約化、農作業の受委託促進、集落営農組織の強化、栽培技術の高度化などを進めます。また、農道、用水路などの農業生産施設に関して、適正な維持管理と計画的な改修を行います。

#### 主要事業

- 優良農地の保全・集約化
- 農業生産施設の維持管理

### 2. 農業経営の安定化

農業経営の安定化を図るため、認定農業者の育成、集落営農組織の法人化などを進めるとともに、市場動向の的確な把握、付加価値の高い農産物の栽培、農産物直売所の活用なども含めた販路の工夫などを通じて、儲かる農業に向けた取り組みを強化します。

さらに、消費者が求める安全で安心できる高品質な農作物の生産・供給に向けて、土づくりの強化、堆肥の有効活用、減農薬栽培などを進めます。

#### 主要事業

- 認定農業者の確保
- 地産地消の推進
- 農産物直売所の建設
- 地域ブランド化
- 環境保全型農業の促進

### 3. 地域の文化・活力となる農業の振興

本町の農業は、主要産業であるとともに、地域の自然、生活、文化なども支えてきた地域社会の基盤です。稲と麦を中心とした本町の農業は、郷土の田園風景を生み出すとともに、地域の生態系を支えています。農業が備える多面的な機能の発揮に向けて、農業者、農業関係団体と連携して、優良農地の保全・管理、農村集落機能の強化、体験学習への利用、食と農業を結び付ける観光や交流活動への活用などを進めます。

#### 主要事業

- 農業体験学習の開催
- 市民農園事業、消費者交流事業の拠点づくり



■ 玉村町の田園風景

# 2 活力ある工業の振興

## 現況と課題

本町は、交通利便性や工業用水に恵まれ、工業立地に適した条件を備えています。東部工業団地を中心として製造業が集積し、電子部品製造業や一般機械製造業などは、製造品出荷額や従業者数が大きい業種となっています。しかし、近年では生産施設の海外移転や省力化などに伴い、工業の従業者数は減少傾向にあります。

今後、東毛広域幹線道路、関越自動車道の高崎・玉村スマートインターチェンジ（仮称）の整備が進み、本町の交通利便性はさらに向上することから、定住人口を増やすためにも地域経済の活性化と雇用機会の確保に向けて、企業誘致と工業用地の確保に取り組むことが求められています。

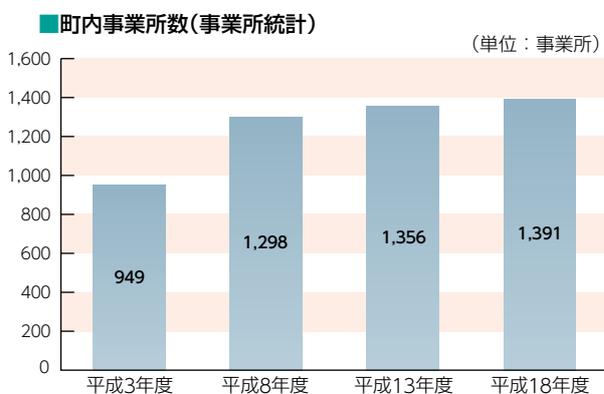
また、町内製造業の経営安定化、新規事業の展開、起業者の育成などを後押しするため、融資や技術開発などの支援体制を強化していくことが必要です。さらに、一部の地域では、住宅と工場・事業所が混在しているため、その弊害を解消し、工業の集積と良好な住環境の形成を両立させていくことが求められています。

## めざす姿

- ◆ 幹線道路網の整備に伴い、企業の進出が進んでいます。
- ◆ 住工混在が解消に向かい、環境と調和した工業集積が実現しています。
- ◆ 町内事業所数が増えています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現 状	目標（H27年）
新規工業団地等への新規進出企業数	—	15社
町内事業所の工業団地への移転件数	—	5社
町内事業所数（事業所統計）	1,391事業所	1,406事業所



## 施策の内容

### 1. 幹線道路網整備を活かした企業誘致

東毛広域幹線道路の整備に伴い、本町の優れた交通条件を活かして、産業振興を進めます。東毛広域幹線道路の沿線地域や町内工業団地の立地の良さをPRするとともに、優良企業の誘致や育成に向けた条例を制定し、各種優遇策の実施を図ります。特に技術先端型企业や特定流通業務施設については開発許可制度を利用した誘致に努めます。

#### 主要事業

- 企業誘致に向けた情報発信
- 企業誘致の体制強化
- 企業誘致条例の制定
- 開発許可制度を利用した企業誘致の推進

### 2. 新たな産業用地の確保

企業誘致に向けて、既存工業団地の拡張と新たな産業用地の確保を進めます。東毛広域幹線道路及び関越自動車道の高崎・玉村スマートインターチェンジ（仮称）並びに北関東自動車道の前橋南インターチェンジへのアクセス性に優れ、なおかつ周辺地域との環境調和が可能な場所に、工業・物流の拠点を創出します。また、新たな産業用地については、町内市街地に立地する事業所の移転場所としても活用し、住工混在の解消に努めます。

#### 主要事業

- 既存工業団地の拡張
- 産業用地の確保

### 3. 中小企業への支援

町内中小企業の経営基盤の強化、新規事業の開拓などを応援するため、経営活動を金融面から支援します。利子補給、保証料補助などの支援制度を充実させるとともに、県や商工団体と連携して、経営や技術開発に関する指導や相談体制を強化します。

#### 主要事業

- 利子補給、保証料補助
- 経営指導者の派遣



■ 工業用部品工場



■ 拡張された東部工業団地

# 3 魅力あふれる商業の振興

## 現況と課題

平成21年の商業統計調査における本町の商品販売額は、1,130億円、事業所数は281事業所です。平成16年と比較すると、商品販売額、事業所数ともに減少しています。特に小売業の事業所数は、平成16年の234事業所から平成21年には209事業所へ減少しています。

本町では、自動車を利用した買物が定着しており、主要地方道の藤岡大胡線沿いの商業施設に買物客が集まっています。今後、東毛広域幹線道路の整備が進み、本町の交通条件はさらに向上することから、魅力ある商業環境の形成と生活利便性の向上に向けて、商業施設の適正な立地を促進することが必要です。

しかし、商業施設の立地は、本町の商業を支えてきた個人商店の経営に影響を与え、既存の商店街は店舗が減少しています。自動車を運転しない高齢者などにとって、最寄りの地域商業は生活に不可欠な施設であるため、品揃えが豊富で買物に便利な商業施設と地域商業との共存に向けて、意欲のある個人商店に対して支援を行うことが求められています。

## めざす姿

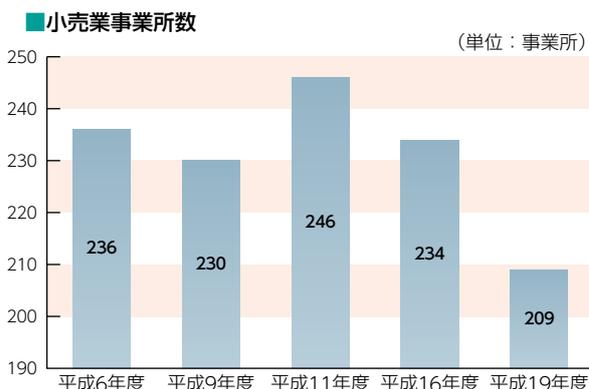
- ◆高齢者や障がい者にも、買物がしやすい個人商店が増えています。
- ◆幹線道路を活かした、便利な商業施設が形成されています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現 状	目 標 (H27年)
小売業事業所数 (注1)	209事業所	210事業所
買回り品の町内吸引率 (注2)	14%	20%

(注1) 平成19年商業統計調査より

(注2) 平成20年玉村町消費者動向調査より



## 施策の内容

### 1. 地域商業の活性化

高齢者をはじめとして地域住民から親しまれる身近な地域商業となるよう、大型店にはない個店の魅力づくりを支援します。農業との連携を図り、特産品の開発や地元消費の拡大に向けた取り組みを支援するとともに、駐車場や休息スペースなどの環境整備を行い、訪れる人の利便性の向上を図ります。また、商工会と連携して、経営相談や経営指導を充実させるとともに、融資や利子補給などを通じて経営面の支援を行います。

#### 主要事業

- 相談・指導体制の充実
- 支援制度等の充実
- 商業活動の活性化に向けた取り組みに対する支援

### 2. 集客力の高い商業施設の形成

東毛広域幹線道路、藤岡大胡線バイパス、斉田上之手線沿線地域などに対して、既存商店との共存を図りながら、周辺市町村からも買物客が集まる魅力のある商業施設を計画的に誘導します。

#### 主要事業

- 商業施設の計画的な誘導



# 4 働きやすい就業環境の創出

## 現況と課題

世界的な景気後退の影響を受けて、我が国も景気回復が遅れています。さらに、人口減少時代への移行、生産施設の海外移転などの要因も加わり、雇用環境は厳しい状況にあります。また、雇用形態も多様化が進み、非正規雇用の割合が増加しています。先行きが不透明な時代となり、リストラや生涯賃金の低下などの不安が募る中では、安定して働くことができる場所を提供することが重要になっています。本町の従業者数は減少に転じており、定住人口を増やすためにも、今まで以上に産業振興、雇用機会の確保に努めていく必要があります。

現在、高校生や大学生などの新卒者は、就職難に直面しており、女性、中高年、障がい者の就職も厳しさを増しています。このため、ハローワークなどの関係機関と連携して、求人情報の提供に努めるとともに、就業に必要な知識、技術の習得を支援することが求められています。

本町の事業所はその大部分が中小企業です。これらの企業が、より安全で働きやすい職場環境を築き、充実した福利厚生がなされるよう、支援を行うことが必要です。

## めざす姿

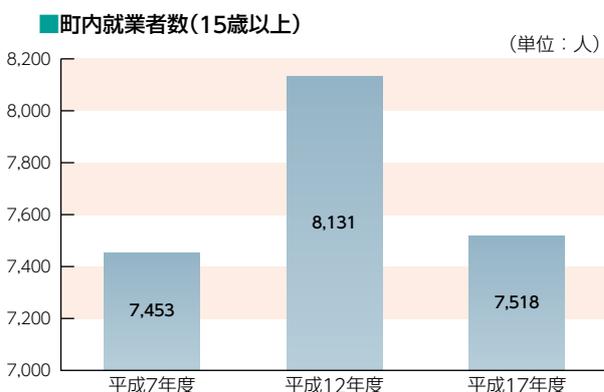
- ◆産業の振興が図られ、就業機会に恵まれています。
- ◆誰もが安全に就労できる労働環境が形成されています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現状	目標 (H27年)
町内就業者数 (15歳以上) (注1)	7,518人	7,600人
働きやすい就業環境が整っていると思う住民の割合 (注2)	11%	20%

(注1) 平成17年国勢調査より

(注2) 総合計画住民意識調査より



## 施策の内容

### 1. 就業支援の充実

就業機会に恵まれたまちづくりに向けて、産業振興を進めるとともに、町内の求人情報の収集・提供に努めます。また、企業に対して、女性、高齢者、障がい者の雇用を促します。さらに、再就職の支援に向けて、資格取得に向けた支援制度の創設に努めます。

また、早くから町内企業への意識を高め、関心を持ってもらえるように、中学生をはじめとした学生の就業体験機会の充実を図ります。

#### 主要事業

- 求人情報の収集・提供
- 職業相談の充実
- シルバー人材センターとの連携
- 学生の就業体験機会の充実

### 2. 働きやすい労働環境の形成

安全な労働環境の形成に向けて、企業に対して情報提供や融資制度の活用を促します。また、仕事と家庭の両立に向けて、育児休業や介護休業などの制度の周知と取得しやすい環境づくりを進めます。さらに、勤労者の相互交流に向けて、「勤労者友の会」を中心とした交流活動を実施します。

#### 主要事業

- 各種融資制度のPR
- 休業制度の普及
- 勤労者の交流促進



■ 勤労者友の会・ボウリング大会



■ 職場体験

# 5 安全・安心な消費生活の確立

## 現況と課題

日常生活の利便性が向上し、消費者は様々な商品やサービスを得ることができるようになりました。しかし、悪徳商法は増加し、消費者トラブルも多様化しています。消費者の被害を未然に防止するため、消費者トラブルに関する情報提供を充実させるとともに、被害にあった消費者を守るため、平成22年4月に開設した消費生活センターを中心とした相談体制を充実させることが必要になっています。

また、食品の安全性や環境に優しい消費行動に対する関心が高まりつつあり、商品に関する正しい情報の提供や、健康面や環境面に関する正しい知識を消費者に分かりやすく伝えることが求められています。

インターネットや通信販売などが普及する中で、消費者、消費関係団体、行政が連携して消費者保護対策に取り組み、安心できる消費生活を実現します。

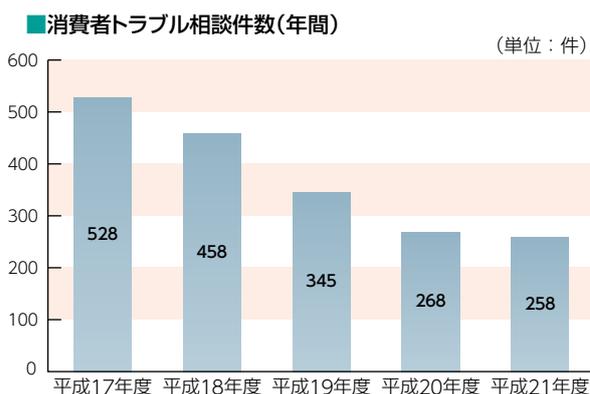
## めざす姿

- ◆消費者育成体制が整っています。
- ◆消費者トラブルに対する相談体制が整い、消費生活センターの活用が拡充しています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現 状	目標 (H27年)
消費者育成講座 (年間開催数)	—	48回
消費者トラブル相談件数 (年間) (注)	258件	200件

(注) 現状は、群馬県消費生活センター及び隣接市の消費生活センターに寄せられた本町の住民からの相談件数



## 施策の内容

### 1. 消費生活に関する情報提供・消費者意識の啓発

消費者トラブルの未然防止に向けて、消費者トラブルに関する情報提供や、商品の契約に関する正しい知識の普及に努めます。広報、パンフレットなどを通じた注意喚起や消費者セミナーを通じた意識啓発を行い、自立した消費者の育成を目指します。また、環境に優しい社会の実現に向けて、環境負荷の少ない商品の購入など、環境に配慮した消費行動の普及に努めます。

#### 主要事業

- 消費者トラブルに関する情報提供
- 消費者セミナーの開催
- エコ活動の普及

### 2. 消費者被害への対応の充実

複雑・多様化する消費トラブルに適切に対応するため、消費生活センターを中心とした消費生活相談体制を充実させます。また、振り込め詐欺や悪徳商法に巻き込まれる高齢者なども見られることから、県、警察や弁護士会などと連携して、被害者救済に向けた体制づくりを進めます。

#### 主要事業

- 消費者相談体制の充実
- 被害者救済体制の構築

悪質商法  
契約トラブル  
多重債務

一人で悩まず  
相談を!!

玉村町消費生活センター  
☎0270-20-4020 Fax.0270-20-4021

相談時間 月曜日～金曜日(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時まで

〒270-1122 千葉県玉村町大字下新田227-1 E-mail: syoukyo@town.tamamura.jp



■消費生活センター

# 6 観光による地域振興

## 現況と課題

本町は江戸時代に倉賀野と日光を結ぶ日光例幣使道の宿場町として栄え、歴史資産が国道354号沿線を中心に点在しています。また、各地域では昔から伝わる神事やお祭りなど伝統的な行事も行われています。

本町も含めた利根川中流域は利根川、烏川、神流川などの合流点が集中し、「水辺の十字路」と呼ぶにふさわしい地域で、特に本町の五料地区には水にかかわる多様な文化が残っています。

さらに、年々人気が高まっている「たまむら花火大会」には、県内外を問わず多くの方が訪れ、夏の到来を告げる風物詩として定着し、本町の知名度を高める観光資源になっています。

観光には魅力的な「食」の存在が不可欠です。このため農業者や商工業者を中心に地域資源を活用した特産品開発を支援するとともに、来訪者への観光情報の発信や、地産農畜産物や特産品を提供する「道の駅」等の交流拠点づくりが必要です。

平成23年の群馬 destinations キャンペーンを機に、本町の住民が愛着と誇りをもつ様々な資源に観光資源としての魅力を付加し、町外へのPR活動をはじめ、観光客の受け入れ体制を整え、観光地としての整備が求められています。

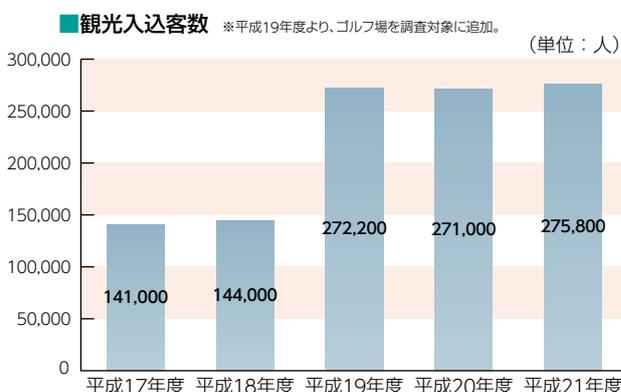
## めざす姿

- ◆観光振興に向けた環境が整っています。
- ◆町外からの観光客が増えています。
- ◆観光地としての整備が進み、消費額が増えています。

## 成果指標と目標値

成果指標	現状	目標 (H27年)
観光協会等の組織化	—	組織化済み
観光入込客数 (注)	275,800人	300,000人
観光消費額 (注)	1,243,689千円	1,288,000千円

(注) 平成21年度観光客数・消費額調査より



## 施策の内容

### 1. 観光振興に向けた環境づくり

観光資源の発掘や魅力アップに向けて、長期的視点に基づいた計画を策定するとともに、観光振興に向けた組織体制を強化し、観光客を迎えるための環境を整えます。さらには、自然資源、歴史・文化資源、農業などの産業資源を再評価し、保全・修復・再生などによって観光資源としての魅力を高め、首都圏等の都市住民を引きつける観光資源化を進めます。

#### 主要事業

- 魅力ある観光事業実施のための観光ビジョンの策定
- 観光協会をはじめ観光資源づくり研究会などの組織化と運営
- 地域資源の再評価と観光資源化、観光客受け入れ体制の整備

### 2. 魅力あるイベントの開催

花火大会や体験農業などの内容を工夫し、町外からの見学者や参加者を集める魅力あるイベントを開催します。また、本町の独自性を活かしたイベントを開発するとともに、観光商品としての整備を図り、質の高いイベントに発展させて、集客力や知名度の向上を図ります。あわせて、四季の行事、イベントなどに関する情報発信を強化します。

#### 主要事業

- 集客力のある花火大会の開催
- 新たなイベントの開発
- ホームページ等によるPR、情報発信の強化

### 3. 来訪者の消費拡大への工夫

イベントなどを通じて本町に立寄る来訪者が、町内で飲食や買物をするよう、魅力あるメニューや商品の開発を促します。農業者、商工業者、住民が連携し、本町の農産物を活用したB級グルメや特産品づくりを進め、地域経済に貢献する観光振興を進めます。

#### 主要事業

- 飲食店の新メニュー開発への支援
- 町内の農産物を活用した料理コンテスト
- 特産品づくり



■ 例幣使道まちあるきツアー



■ 花火大会

# 玉村町

TAMAMURA  
田園夢花火



## 玉村町・ご当地ぐんまちゃん

玉村町のご当地ぐんまちゃんは、たまむら花火大会をテーマにしたものです。たまむら花火大会は、田園地帯の真ん中から打ち上げるため、四方どこからでも楽しむことができ、さらには打ち上げ地点の間近で見ることができるため、頭上に花火が上がっているような臨場感満点の迫力ある花火を体感できます。